

おだわろ

発行所
小田原市役所
小田原市幸1の138
編集兼発行人
莊司忠一
文進堂印刷所
全世帯配布

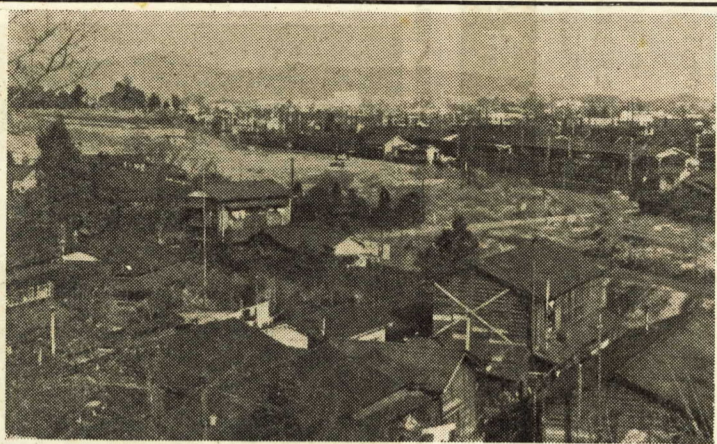
小田原市の人口	1月1日現在
人口	128,298人
男女	63,402人
世帯	27,529
12月と	人口男女世帯
比較	166人 64人 104世帯

- 2月のこよみ
- 成人病予防週間(1~7日)
 - 小田原梅まつり菓子展(9~11日)
 - 人権特設相談所開設(12日)
 - 林産物品評会(14~15日)
 - 小田原梅まつり箱根物産展(16~18日)
 - 巡回行政苦情相談所開設(16日)
 - 春の火災予防運動(28日~3月13日)

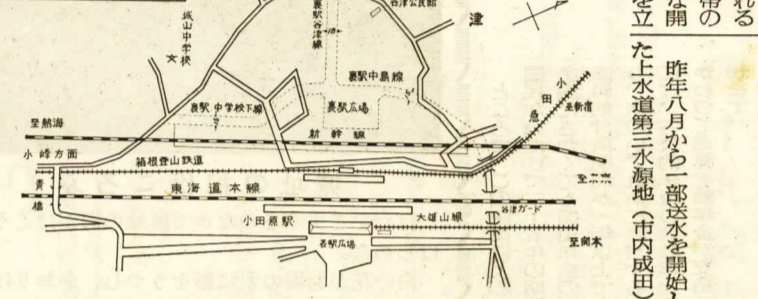
広場 連絡街路を計画

期待される小田原 駅裏の発展

市では昭和三十九年に開設が予定されている国鉄新幹線小田原駅の建設工事に併行して、裏駅広場の造成とこれの連絡街路である裏駅中学校下線、裏駅中島線等の整備を計画し、その一部事業を本年度から始めることになりました。裏駅広場は面積約六千四百五十平方メートル、裏駅中学校下線は同広場から城山中学校道路入り口付近まで、延長二百四十七メートル、裏駅中島線は幅員十五メートル、裏駅中島線は幅員十五メートルで、延長二百七十七メートルの間に四十年で観光都市小田原の玄関として、その発展が大いに期待されます。



裏駅方面見取図



第三水源工事急ピッチ

完成予定は三月末

市上水道の計画給水能力は、一日当たり一萬二千トンから一萬四万トンになります。この第三水源の建設工事は、上水道第二期拡張工事の一環として、昭和三十四年度から総工費約一億二千万円で着工されたもので、昨年八月から一部送水を開始し、昨年十二月末までに機械の据え付けや電気設備工事を終り、目下急ピッチで集水埋き工事と構内の整地作業が進められております。集水埋き工事のうち、酒匂川左岸の堤防を掘削して内径三十一ミリのヒューム管を、延長三十一メートルにわたって埋設する工事はほぼ完了し、引き続き目下河川内に内径二ミリの有孔ヒューム管を、延長二百六十九メートルにわたって埋設する工事が行われております。一方水源地区内の整地作業も着々進み、本年度内には一応これら水源関係工事の完成が見込まれております。



第三水源地工事現場 酒匂川河床に集水管埋設

市上水道の計画給水能力は、一日当たり一萬二千トンから一萬四万トンになります。この第三水源の建設工事は、上水道第二期拡張工事の一環として、昭和三十四年度から総工費約一億二千万円で着工されたもので、昨年十月一日から十二月末日まで全市に展開された共同募金運動の結果が、このほど次のとおりまとまりましたので報告いたします。この募金運動の実施に際しましては、市民の皆さまから理解あるご協力をいただきましたことを深く感謝すると共に、合わせて今後

目標額を突破 共同募金の結果

目標額	二百七十五万円
実績額	二百九十九万四千四百六十七円
戸別募金	二百三十四万八千七百五十五円
法人募金	十二万三千五百円
街頭募金	二十一万三千九百九十二円
校内募金	十九万九千七百二十八円
その他	三万二千九百七十二円
達成率	一〇五・七九%

道路の水まきに注意

凍結期の交通事故防止

一月末から二月にかけては、一年中で一番寒いといわれております。毎年の季節には道路が凍って自動車等のスリップ事故が多発しております。スリップによる事故は、そのほとんどが大きな人身事故や物件事故となっております。自動車などを運転される方は、道にお住まいの方は、お互いに次のことに注意して事故を防ぎましょう。

沿道にお住まいの方へ

自動車等を運転される方へ

凍結した道路を通行するときは

人権特設相談 2月12日 午後1時から 午後4時まで 城内高校窓梅会館

2月の納税 分4期 納期限 2月28日 税金はぜひ納期にお納めください。(納税貯蓄組合に加入しましょう。)

小田原梅まつり

2月 9. 10. 11日	菓子展示会	小田原市中央公民館
2月 11. 18日	日本舞踊	野外劇場
2月 16. 17. 18日	箱根物産展示会	小田原市中央公民館

2月9日から11日まで
梅の植木市
梅干展示会
2月9日 梅林生
2月11日 宝さがし
場所 中河原
主催 下曾我商工

生ワクチンの投与を始める

小学校六年生まで

第一回目は三月から

県ではこのほど小児マヒ予防対策の一環として、生ワクチン投与の実施計画を定めました。

ことしは、ソークワクチンによる予防接種及び昨年の生ワクチン投与の有無にかかわらず実施時期において生後三月から小学校六年生までの希望者を対象として、三月中旬に1型ワクチンを、五月に2型及び3型の混合ワクチンを無料で投与することになっております。

小田原では小田原保健所が中心となり、これに市が協力して実施されますが、本市の対象者はいまのところ約二万八千八百人(未就学児童一万三千五百人、小学生一万四千三百人)が予定されております。

第一回目の投与は、三月五日から



城址の梅ほころぶ
はだをさす寒さのなかで城址の梅がほころびはじめた。白い花がお堀の水に影をうつし、かおりほのかににおう城址に、春の訪れが感じられる。

児が対象)は、生ワクチンの投与と併行して四月中旬に実施されますので、集団免疫を確保するために必ずお受けください。

この予防接種の日程については次号に掲載いたします。

第一回目の生ワクチン投与日程

△3月5日新玉小 △6日足柄小、山王小 △7日芦子小、久野小 △8日富水小、桜井小、△9日大窪小、早川小 △10日本町小、町田小 △12日下府中(以上午前9時30分～午前11時) △12日千代小(午前10時～午前11時) △13日酒匂小(午前11時) △14日国府津小(以上午前9時30分～午前11時) △15日下曾我小、片浦小、曾我小(以上午前10時～午前11時) △17日城内小(午前9時30分～午前11時)

※病氣その他の理由による実施期間中投与を受けられなかった方は小田原保健所で次の日に投与を受けてください。

▽3月29日、30日
午前9時30分～10時30分
午後11時30分～午後3時30分

わな会」の会員のうち、ことしの三月高校や大学を卒業するため、退会される方が発起人となり、新たに会を作ろうとしております。この会は、市内に居住する母子家庭のうち、十八歳以上の未婚者で、職場に働く者を会員とし、お互いに立場を理解し合い、社会人としての教養を高め、自立の精神により母子家庭の福祉をはかろうと行こうとするものです。

発起人会ではこの四月に結成大会を開き、会を組織する予定のものと、市内の母子家庭の子女に会員になるよう呼びかけております。この会の趣旨に賛成の方は、二月末日まではがき住所、氏名を記入し、市役所厚生課内の「いわな会」事務局あてご連絡ください。

250年前の天守閣模型

東大から本市へ寄贈

さる一月十七日、小田原城天守閣の模型が、東京大学工学部から本市へ寄贈されました。

この模型は、今から二百五十余年前の元禄十六年(一七〇三年)の模型が、東京大学工学部から本市へ寄贈されました。



天守閣の模型が残されているのは全国の城でもその数が少ないので、その稀少価値は極めて高く、また城郭研究や築城建築学の見地から学術的にも貴重な資料です。

建設だより

寄贈された模型は、天守閣一階に陳列されておりますが、これに本市には既存のものも含めて二個の天守閣の模型が揃ったわけです。

- △改取川防災工事
●山王原地内●
(工事概要)
練石積工 延長三二〇坪 平均法長五・八五坪 面積一八〇・七平方坪
工事費八二万円(うち県費補助三分の一)
二月末日完成の予定
- △板橋川橋架設工事
●根府川地内●
(工事概要)
橋りょう架設工 鉄筋コンクリート桁単梁橋 延長一三・五坪 幅員四坪(車道幅員三・五坪)
道路工 延長二九・八坪 幅員四・五坪(車道幅員三・五坪) 橋台二基
工事費一八八万円(うち県費補助三分の一)
三月末日完成の予定
- △板橋川橋架設工事
●板橋地内●
(工事概要)
粗粒式アスファルトコンクリート舗装 延長一五・八坪 幅員五・七坪、面積一〇八・八平方坪
工事費三七八万円(うち国庫補助二分の一)
三月末日完成の予定
- △板橋川橋架設工事
●板橋地内●
(工事概要)
粗粒式アスファルトコンクリート舗装 延長一五・八坪 幅員五・七坪、面積一〇八・八平方坪
工事費三七八万円(うち国庫補助二分の一)
三月末日完成の予定
- △久野地内●
(工事概要)
道路改良 延長二七〇坪 車道幅員五・五坪(従来車道幅員四坪)
工事費二八五万円(うち県費補助三分の一)
三月末日完成の予定
- △下水道第六、七、八工区(汚水処理) ●第三工区(雨水処理) ●工事
(工事概要)
●第六工区中島台揚線
●新玉地内●
厚型陶管埋設 内径三〇〇ミリ 延長一五・八坪 内径三八〇ミリ 延長一〇・四坪 総延長二五・二坪
工事費三三万八千四百円(うち国庫補助三分の一)
三月末日完成の予定
- 第七工区中島台揚線
●新玉地内●
厚型陶管埋設 内径三〇〇ミリ 延長二四・八坪
工事費二五万六千円(うち国庫補助三分の一)
三月十日完成の予定
- 第八工区中島台揚線
●新玉地内●
厚型陶管埋設 内径三〇〇ミリ 延長一八・〇坪
工事費二八万五千元(うち国庫補助三分の一)
三月十日完成の予定
- 第九工区中島台揚線
●新玉地内●
厚型陶管埋設 内径三〇〇ミリ 延長一六・五坪
工事費二四万九千九百円(市単独事業)

通算年金制度の概要

老齢になった場合国民の誰もが年金を受けられるよう、昨年十一月末に通算年金通則法が国会を通過し、昭和三十六年四月一日にさかのぼって適用されることになりました。

この制度は、各公的年金制度による、会社にいた十年分と商売をしておられる(もちろん国民年金に加入)何年かの分を合算して一定の期間になれば、この方が六十歳又は六十五歳になつてから通算年金が支給されますので、保険料の掛け損にはなりません。

以下国民年金を中心とするものを説明いたしますが、通算の対象となる公的年金は次のとおりです。

国民年金、厚生年金、船員保険、国家公務員共済組合、市町村職員共済組合、私立学校教職員共済組合、公共企業体職員共済組合、農林漁業団体職員共済組合、条例にもとづく地方公務員

通算の仕方

国民年金の老齢年金を交付するためには、①保険料納付済期間と②通算の期間とを合算

して二十五年以上であるか、②又はその期間が十年以上で、保険料免除期間と合算して二十五年以上であるかのいずれかの要件に該当しなければなりません(※ただし、この二十五年という期間は、ことしの四月一日に三十一歳をこえる人はその人の年齢に応じて十年から二十四年(以下略)の期間とさせていただきます)

通算対象期間

①国民年金の保険料納付済期間と②通算の期間とを合算

国民年金、厚生年金及び船員保険の加入期間が、それぞれ一年未満の場合は通算されません。しかし、これら年金の加入期間がそれぞれ一年未満であつても二つ以上の年金加入期間を合算して一年以上になれば通算されます。

通算年金の支給開始年齢

国民年金の老齢年金と同様六十五歳から支給されます。

ただし、本人が希望すれば六十歳から繰り上げ支給を受けることができます。この場合の額は六十五歳から受ける額より減額されます。

通算年金の支給額

通算年金の額は、一年以上二十四年までの保険料納付済期間に応じて定められます。

保険料納付済期間が二十年までは一年について九百円、二十年をこえる一年については二千二百円です。

従つて保険料納付済期間が五年であれば四千五百円、十年であれば九千円、二十年であれば一万八千円、二十四年であれば二万二千八百円となります。

以上が通算年金のありかたです。なお、お詳しいについては厚生課国民年金係又は各支所へお問い合わせください。

天神山公民館が完成

地区民多年の念願であつた第二十九区の公民館が、このほど天神山(十字二丁目)に建設されました。



この公民館は木造モルタル塗装二階建て延面積百四十九平方坪の近代建物で、総工費は約二百三十万円(市補助金八十九万円)です。

建物の階下は舞台つきホールで集会所となり、階上は和室の小集会所、図書室となつております。高台で見晴らしがよく、閑静で便利なところに建てられたこの公民館は、地区民のつどいの場としての好条件を備えております。

なお、これらの活動が十分期待されます。

公民館の完成によつて、市内の公民館は五十二館となりました。

写真は完成した天神山公民館

巡回行政苦情相談所開設

2月16日(金)
午前10時～午後3時
星崎記念館会議室
主催 神奈川行政監察局

あぶない鉄砲遊び

東京では死んだ子供もいる

最近、市内の街灯の電球や公共の施設、窓ガラス等を空気銃や手製の鉄砲で撃ちこむ少年がふえています。

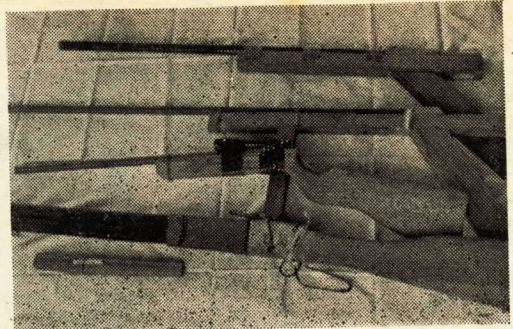
空気銃等は、銃砲刀剣類所持取締法により、十四歳未満の者が所持が禁止されています。十四歳以上の者でも所持するには県の公安委員会の許可が必要です。

手製の鉄砲でも火薬で金属弾丸が発射できるような作られていけば、一般の銃砲と見なされ、この法律が適用されます。

特に少年達の間で最近流行している手製の鉄砲は、火薬をつけて遊ぶおもちゃのピストルより一段と進歩したもので、銃身は長さ四十七センチ程度の鉄のパイプやコークの柄などで作られています。これに鉛玉をいれ火薬で発射すれば、十センチ先の板を撃ち抜くことができるほどあぶないものです。

このため小田原警察署や市の教育委員会では、機会あるごとに学校を通じて子ども達が空気銃や手製の鉄砲をもつて、人を撃つなうたうて注意を促しています。

また、物をつぶすような鉄砲の所持は、銃砲刀剣類所持法に違反するおそれがあるため、子ども達にこのような危険物を持たせないようにお願いしております。また、完全に守られていないようであれば、この事故は小・中学生だけが引き起こすものでなく、特に空気銃による遊びは青年の間にもよく見受けられることでありますので、小田原警察署ではこれらの人々の注意も強く望んでおります。



一月十五日の「成人の日」には、市内四十九会場、満二十歳に達した若人二千八百名(男一、三六二名、女一、四四八名)を祝つて、自治会、公民館、婦人会、民生委員又は社会教育振興協議会等の主催により成人式が行なわれました。当日は各会場市長や出席された先輩の方から、お祝いのことばがあり、りっぱな社会人となれるよう激励をうけました。

式終了後は、成人になった若人をかこんでの座談会や講演会又は映画会など「成人の日」にふさわしい催しが各会場で行なわれました。なお、市から本年も昨年と同様に成人に達した方々全員に記念の掛け鐘を贈り、その前途を祝いました。

二千八百名に記念品 四十九会場で成人式

年賀風船

横浜在住のドイツ少女にも届く

中央青少年問題協議会からモテル地区に指定された幸、緑、十字地区のうち、幸地区全部と十字地区の第三十二区の子供達約一千名が、さる一月四日城址公園大守閣広場から、色とりどりの風船一千個に年賀状を結びつけて新春の空に飛ばしました。

この年賀風船は、昭和三十三年から年賀状の交換と気象調べを兼ねて、第三十二区子供会の子供達によりはじめられたもので、三十四年を除いてことごとく四回目は同子供会の年中行事であるばかりでなく、正月における小田原の観光行事の一つとして一般に知られております。

ことごとくモテル地区の子供達も、新たに青少年活動を対外的にアピールする標語などが年賀状に添えられています。

なかでも珍らしいのは、横浜市中西の谷二七のテレセ、ウンパウと言ふ大森ドイツ学校の六年生のドイツ少女から返信があり、子供達を大変喜ばせました。



写真は年賀風船あげ

児童扶養手当

子供1人に月額800円

該当母子世帯は申請を

母子世帯の福祉をはかる施策として、一昨年からさらに国民年金の母子福祉年金制度が設けられました。ただし日本人でかつたりほかに各種の年金をもらっている人、あるいは前年の収入が十三万円(子供一人につき三万円ずつ加算)以上収入のあった人は除かれます。

ところが国民年金の母子福祉年金は、夫と死別した母子世帯を対象としたもので、生別の母子世帯は対象となっておりません。しかし母子世帯の生活は夫の死別や生別にかかわらずその苦しさには変わりありません。

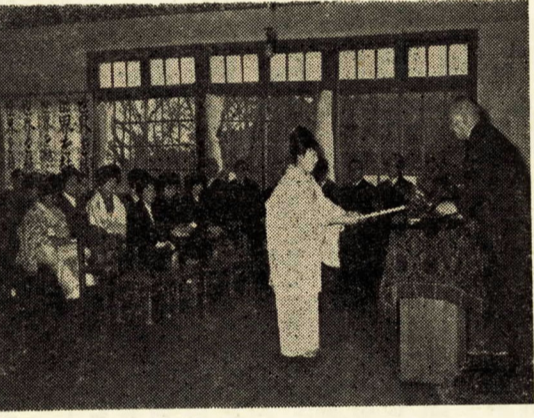
そこで主として生別の母子世帯を救済するため、昨年十一月二十九日に児童扶養手当法が公布され、ことしの一月一日からこれら世帯の子供に対し、国が手当を支給することにになりました。

この手当を受けられる人は、夫と別れて義務教育終了前の子供を育てている母親、又は母親がわたり、物をつぶすような鉄砲の所持に注意を促しています。

また、完全に守られていないようであれば、この事故は小・中学生だけが引き起こすものでなく、特に空気銃による遊びは青年の間にもよく見受けられることでありますので、小田原警察署ではこれらの人々の注意も強く望んでおります。

このため小田原警察署や市の教育委員会では、機会あるごとに学校を通じて子ども達が空気銃や手製の鉄砲をもつて、人を撃つなうたうて注意を促しています。

また、物をつぶすような鉄砲の所持は、銃砲刀剣類所持法に違反するおそれがあるため、子ども達にこのような危険物を持たせないようにお願いしております。また、完全に守られていないようであれば、この事故は小・中学生だけが引き起こすものでなく、特に空気銃による遊びは青年の間にもよく見受けられることでありますので、小田原警察署ではこれらの人々の注意も強く望んでおります。



写真は川地区における成人式

林産物品評会
2月14, 15日
城内小学校講堂
展示品
木炭・しいたけ
木工製品(参考品)
主催 神奈川県・小田原市

郡市対抗で 本市が優勝
三浦半島一周駅伝
第十六回三浦半島一周駅伝競走大会は、郡市対抗九チーム、一般十三チーム、高校十六チーム計三十八チーム、百四十四名の選手が参加して、快晴に恵まれたさる一月二十一日、横須賀市役所前折り返し、六区間五十五・五キロのコースで行なわれた結果、郡市対抗では、小田原(代田、榎木、国見、椎野、井上、池田)が3時間3分49秒の大会新記録で優勝(総合第三位)しました。

なお、本市各選手の手タイムはいずれも区間新記録でした。

福祉施設めぐり

健康学園

市では市民の福祉施策に重点をおき、他都市に見られない多くの事業を行なう一方、これに関連する立派な施設もたくさんつくってまいりました。

これらの施設で行なわれている福祉業務は、市民生活と深く結びつく大切な仕事ですが、とくに目立たないのが実情です。そこでこれから数回にわたり、本市の福祉施設を紹介し、これらの業務に対するみなさんのご理解とご協力をお願いしたいと思います。

まず最初は、全国的にも珍しい施設として知られている健康学園をご紹介します。

健康を回復しながら勉強

すでに93名が退園



健康学園の概要をみますと敷地二千二百三十三平方、建物面積延五百四十八平方、一部二階建てで二階に事務室、診察室、観察室、病室、レントゲン室、調理室、宿直室、浴室及び洗濯室などが設けられ、二階は市立西子小学校の谷津分校として教室二、図書室兼音楽室があります。また別棟には児童の居室五と補修室、職員居室が併設されております。

現在ここでは園長、医師、保健婦、生活指導員、保育士、栄養士、調理士及び教員など十三名の職員が、二十七名(定員三十名)の虚弱児童と規則正しい日常生活を送りながら、その健康管理や生活指導に当たっています。

健康学園の概要をみますと敷地二千二百三十三平方、建物面積延五百四十八平方、一部二階建てで二階に事務室、診察室、観察室、病室、レントゲン室、調理室、宿直室、浴室及び洗濯室などが設けられ、二階は市立西子小学校の谷津分校として教室二、図書室兼音楽室があります。また別棟には児童の居室五と補修室、職員居室が併設されております。

現在ここでは園長、医師、保健婦、生活指導員、保育士、栄養士、調理士及び教員など十三名の職員が、二十七名(定員三十名)の虚弱児童と規則正しい日常生活を送りながら、その健康管理や生活指導に当たっています。

健康学園の概要をみますと敷地二千二百三十三平方、建物面積延五百四十八平方、一部二階建てで二階に事務室、診察室、観察室、病室、レントゲン室、調理室、宿直室、浴室及び洗濯室などが設けられ、二階は市立西子小学校の谷津分校として教室二、図書室兼音楽室があります。また別棟には児童の居室五と補修室、職員居室が併設されております。

現在ここでは園長、医師、保健婦、生活指導員、保育士、栄養士、調理士及び教員など十三名の職員が、二十七名(定員三十名)の虚弱児童と規則正しい日常生活を送りながら、その健康管理や生活指導に当たっています。

健康学園の概要をみますと敷地二千二百三十三平方、建物面積延五百四十八平方、一部二階建てで二階に事務室、診察室、観察室、病室、レントゲン室、調理室、宿直室、浴室及び洗濯室などが設けられ、二階は市立西子小学校の谷津分校として教室二、図書室兼音楽室があります。また別棟には児童の居室五と補修室、職員居室が併設されております。

現在ここでは園長、医師、保健婦、生活指導員、保育士、栄養士、調理士及び教員など十三名の職員が、二十七名(定員三十名)の虚弱児童と規則正しい日常生活を送りながら、その健康管理や生活指導に当たっています。

健康に適切な個別教育
健康の管理と同様大切な問題は教育です。この教育は施設に併設された学校で、それぞれの健康に適した教育が個別に施されております。

入園当初の児童の学力は、普通一年以上おこなわれております。これは弱毒性と家庭環境の悪いために長期欠席者が多く、はなはだしいのは、病院生活のため三年生であるべき年齢でありながら学校生活の習無という気の毒な児童もおります。従つて学年相当の学力で入園する児童はまれです。入園当初の二月月頃には学習意欲が乏しく、注意力も散漫になりがちです。

しかし、三月月頃よりから学園生活にも慣れ、学習に興味を持ちはじめ、健康の回復と共に急激に学力の進歩が認められるようになり、平均一年半くらいで大体学年相当の力になっております。

日常生活についても家庭の母のように、生活指導員と二人の保育者が、日用品、学習用品のことから衣類、寝具にいたるまで、一切のめんどうを見ております。

一年〜一年半で健康になる
こうして恵まれた環境と設備の学園で、児童は規則正しい生活をくりかえしながら学校教育を受け、専門の医師や保健婦による健康管理と、それに伴つた栄養をとり、また社会人として必要なしつけを受けて比較的短い一年から一年半くらいの期間に、明るい健康な児童になつて家庭に帰つて行きます。

当施設が開設されて七年、すでに九十三名の児童が健康を回復し退園しております。

しかし、市内には、虚弱な児童をかかえながら、この健康学園を知らない家庭が、まだ相当数あるものと思われまますので、虚弱児童をお持ちの方は、健康学園(電話四三三七四番)又は小田原児童相談所(電話六〇七七番)へご相談ください。

はしご乗りの妙技に拍手

新春を飾った消防始め式

新春を飾る恒例の消防始め式は、好天に恵まれた一月十一日、市内小学校校庭とお堀ばた通りで盛大に挙行されました。

当日は午前九時三十分、花火を合図に市内小学校校庭で消防に功績のあった方々に、表彰状や感謝状が贈られました。

引き続きお堀ばた通りに約七百四十名の消防職員及び団員が整列して、鈴木市長の検閲を受けた後、城南中学校吹奏楽部の演奏するマーチに合わせて指揮車を先頭に自動車ポンプ部隊、救急部隊、徒歩部隊の力強い行列行進が行な

われしました。そのあと特別参加の消防記念会の人達が市の紋章入り金まといを先頭に入場し、三力所にわかれてはしご乗りの妙技を次々とくりひろげ、観衆の拍手をあびました。

次に商店街の協力による防火宣伝の花火数打発が打ち上げられると同時に、西分署の新鋭消防車により、まなび橋に建てられた放水塔の鈴に対し、実戦さながらの放水演技がひろげられてから、サレンを合図に消防部隊の一斉放水が行なわれました。

五十余台のポンプからほとばし

る七十余条の水柱は、広いお堀を水霧でおおい、時ならぬにじの大橋を空中にえがいて、午前十一時三十分始め式は盛會のうちに終了しました。

なお、当日の被表彰者は次のとおりです。

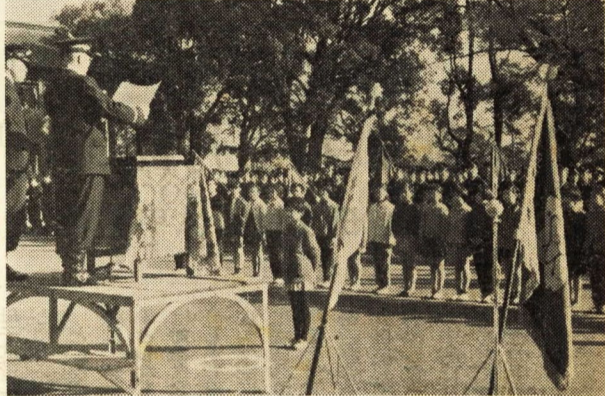
(敬称略)

◎市長表彰(四名) 神保悟 高橋良雄(消防本部) 神保悟(消防署) 以上優良消防職員

◎市長感謝状(十三名) 山本春正(早川) 入江泰(板橋) 清水武雄(風祭) 太田忠雄(山王原) 横溝一(井田) 杉浦恵二(下新田) 細田 杉浦恵二(新玉) 杉山トク子 教馬武治(成田) 野地利明(田島) 川口清治(高田) 柏平田久枝(町田) 石川重明(新玉) 木村望(中曾根) 鈴木大富作(早川) 田中よね(穴部) 大津喜男(幸) 以上早期通報者



写真は消防記念会の方々によるはしご乗りの妙技



表彰を受ける本町の消防士たち

△▽△▽△▽
 木文雄(上曾我) 内藤英男(幸) 遠藤良平(幸) 小楠善太郎(万年) 以上各分団長

◎消防長感謝状(二十五名) 佐宗トシ子(曾我谷津) 神保悟(曾我) 渡辺弥太郎(中島) 葛屋光子(緑) 佐宗トシ子(曾我谷津) 神保悟(曾我)

◎消防協会の表彰者
 本町小学校サポーターグループ 以上消防協力者

◎消防協会の表彰者
 現場功労消防員一木隆平(第十三分団長) 優良消防員杉崎木一ほか七十二名

富水チームが優勝

第十三回市一周駅伝

第十三回小田原市一周駅伝競走が優勝し、四連勝を挙げました。大会は一月七日快晴にめぐまれた長コンディションのもとに、早川チームの進出もめざましく二位となり、行され、全コース四十五キロ、八区間を三チームの精鋭により熱戦が展開されました。当日は、終戦の勝利を祝った富水チームの健闘が目立ちました。当日の着順及び各区間の最高タイムは次のとおりです。

◇着順

① 富水2時間37分20秒 ② 早川2時間38分24秒 ③ 片浦2時間40分2秒 ④ 曾我2時間45分20秒 ⑤ 久野2時間45分35秒 ⑥ 下曾我2時間47分

◇上府中 2時間50分1秒 ⑧ 下府中 2時間51分6秒 ⑨ 二川2時間56分18秒 ⑩ 酒匂2時間57分42秒 ⑪ 幸3時間10分2秒

◇区間最高記録

一区 代田(曾我) 22分二区 小田原市陸上競技協会、足柄上陸

みなんで考えましょう 第45回 市政クイズ

みなんで楽しみながら市の行政をよく知っていただくため、月一回市政クイズを行なうことになりました。奮って応募してください。

問題

最近この間に□□の鉄砲による遊びが□□し、市内各地で、□□の電球や□□の窓ガラスがこわされ困っているのを取り締まってもらいたい。□□の望がでています。すでに□□や教育委員会は□□あることに□□を通じ、ことも達が手製の鉄砲等でのようなことをしないよう□□もし、父兄にもこれら□□を持たせたいよう□□願っています。□□は完全に守られており、四歳未満の□□は禁ぜられ、以上の者の所持は□□の委員会の□□が必要で、手製の鉄砲は□□で金属弾丸が□□でできるような作られては、一般の銃砲と見なされ、青少年や父兄の方々も注意してください。

応募規定

1 賞金は二千円、正解者二名以上のときは等分し、六名以上のときは抽せんにより五名に等分する(正解者のないときは次回に計算)

2 問題中□□は当用漢字(補正漢字を含む)で記入する。

3 応募用紙は官製ハガキ又はハガキ大用紙

4 応募者の住所、氏名職業を明記する。

5 応募は一人一通に限る。

6 締め切りは二月二十日(二十日消印あるものは有効)

7 あて先は市役所庶務課広報文書係

8 解答及び正解者は次の本紙上に発表する(注意) 応募者は小田原

第44回の正しい答

本市の都市建設十か年計画は東海道新幹線新駅設置に伴って生ずる新事態や小田原漁港の完成によつて起る画期的な発展、又は酒匂川両岸の工業地帯の実現を予想して作成されたもので、これには増大した本市の行政力力の総力を結集して、本市の一体性を具現しようとするものであります。この中には、総合的見地に立つての都市計画の遂行、上下水道の整備拡張、文化教育施設の充実、産業各方面にわたつての発展、観光資源の高度開発の外、福祉行政の推進等が織り込まれ、近代都市として飛躍的に発展する本市の輝かしい将来が指向されるものと云えます。



沿道市民の声援にこたえ力走する選手(市一周駅伝、消防署東分署付近で写す)

新玉) 木村望(中曾根) 鈴木大富作(早川) 田中よね(穴部) 大津喜男(幸) 以上早期通報者

◎消防長感謝状(二十五名) 佐宗トシ子(曾我谷津) 神保悟(曾我) 渡辺弥太郎(中島) 葛屋光子(緑) 佐宗トシ子(曾我谷津) 神保悟(曾我)

◎消防協会の表彰者
 本町小学校サポーターグループ 以上消防協力者

◎消防協会の表彰者
 現場功労消防員一木隆平(第十三分団長) 優良消防員杉崎木一ほか七十二名

昨年の火災統計から

市の消防本部では、このほど昨年一年間における小田原市の火災統計をまとめました。が、依然として市民生活の大きな脅威となつて居る火災に對し、より一層の注意を怠らないよう皆さんの協力を望んでおります。

昨年の火災件数は、過去三年間の平均六十六件に對し八十件となつており、又その損害額は二千四百万円に對し六千二百万円と約二倍強となつております。

損害額は六千二百万円 過去三年の約二倍強

この火災原因のうち、たき火に次いで石油コンロ、油

る家庭が増加していることや油類を使う事業所等が多くなつてきていることが大きな原因です。

これは火災原因のうち、たき火に次いで石油コンロ、油

下曾我子供会が初優勝

第四回小田原市子供会女子ソフトボール大会は、市子供会協議会の主催により、一月六日午前八時三十分から本町小学校校庭で行なわれました。

この日は快晴に恵まれ、各学区の子供会の代表十五チームの精鋭がトーナメントで熱戦をくりひろげた結果、昨年三位の下曾我チームが善戦して初優勝を飾り、市長杯を獲得しました。

心配ごと相談

3月6・13・27日 午後9時~3時 市役所厚生寮

また昨年優勝した国府津チームが準決勝で本町チームと対戦し、接戦の末敗れるなど全般的に実力が大きく向上しているのが見られました。

おもな成績は次のとおりです。

◎優勝 下曾我学区子供会

◎二位 本町学区子供会

◎三位 国府津学区子供会

◎努力賞 千代学区子供会

電話番号変更のお知らせ

下曾我局2月1日から自動化

これまで下曾我局区内に於ける本町の支所、学校、保育園等の電話番号が次のとおり変更いたしますのでお知らせします。

これに伴い今まで下曾我局区内に於ける本町の支所、学校、保育園等の電話番号が次のとおり変更いたしますのでお知らせします。

◇下曾我支所 三九五四番

◇豊川支所 三九五五番

◇上府中支所 三九五五番

◇曾我支所 三九五七番

◇下曾我小学校 三九五八番

◇曾我小学校 三九五八番

◇千代小学校 三九六〇番

◇上府中保育園 三九六二番

◇下曾我保育園 三九六三番

◇曾我保育園 三九六四番

◇豊川保育園 三九六五番

◇千代中保育園 三九六六番

◇小田原局区内から国府津局区内に電話をかける場合は、「〇四六五〇」とダイヤルを回せば先方と通話ができます。

たとえば下曾我支所へかける場合は「〇四六五〇三九五四番」となります。

また、国府津局区内から小田原局区内に電話をかける場合は「〇四六五〇〇〇〇番」とダイヤルを回してください。